

令和7年度  
東京都江東治水事務所長優良工事等及び  
建設業担い手確保・育成貢献工事等表彰式



令和7年11月21日（金）に「令和7年度 東京都江東治水事務所長優良工事等及び建設業担い手確保・育成貢献工事等表彰式」が開催されました。

東京都建設局では毎年、優秀な工事等を公表し、その施工者に賞状を贈呈しております。渡辺所長から謝辞が述べられ、受賞者に賞状が贈呈されました。

今年度の受賞者、受賞件名及び受賞理由は次のとおりです。

## 東京都江東治水事務所長優良工事等

有限会社阿蘇建設

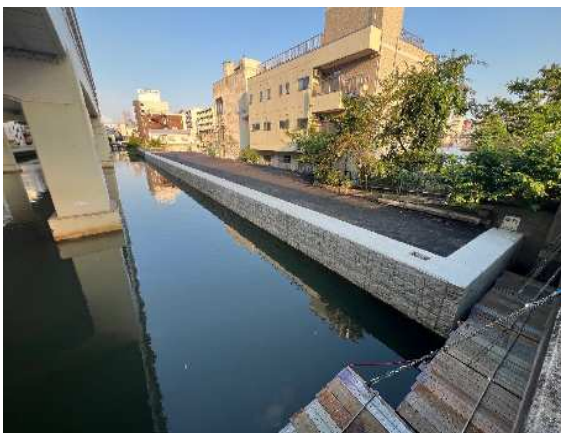
### 豎川護岸建設工事（その12）

#### <受賞理由>

本工事は、三之橋上流から下水道局旧三之橋ポンプ所前の左岸約70mの区間について、耐震護岸を構築する工事である。主な施工内容は、旧護岸前面に鋼管矢板を圧入及び前面河床部の地盤改良（高圧噴射攪拌方式）等である。

受注者は想定より軟弱な地盤に対し、圧入機が自沈する状況に対し矢板溶接等の沈下防止策を早期提案・実施した。施工空間上空の首都高工事との競合により、作業船舶の回航時期調整や資材搬入の交通規制について綿密な調整を行い工期への影響を抑えた。埋設下水道管や首都高等、近接構造物が多く、かつ競合する関係機関との調整が必要な工事であったが、KY活動等日々の安全管理を徹底し、無事故で工事を完了した。

【施工後】



【狭隘な場所での施工状況】



新日本工業株式会社

## 新中川護岸耐震補強工事（その18）

### <受賞理由>

本工事は、将来にわたって想定される最大級の地震が発生した場合においても、堤防等の施設が機能を保持し、津波等による浸水被害を防ぐことを目的に、新中川（奥戸新橋下流左岸、施工延長 125m）において地盤改良工による護岸の耐震補強を行ったものである。

受注者は、近接する橋梁への影響を考慮し、地盤改良工法の変更など適切な施工計画を立案するとともに、ICT 活用等により効率的な施工管理を行い主要工種を3か月前倒して完了させた。また、船舶利用者の現場内安全通路の確保やレーザーバリア等による東電・JRの送電線への接触防止対策など、きめ細かい安全管理を実施し事故なく工事を完了させた。

【施工後】



【高圧線直下での地盤改良状況】



シンコー・テクノ株式会社

## 亀島川水門耐震補強工事（その4）その3

### <受賞理由>

本工事は、将来にわたって考えられる最大級の地震が発生した場合においても水門等の機能を保持し浸水被害などを防ぐことを目的に、水門躯体（2号門扉側）の耐震補強を行ったものである。

受注者は、本現場は住宅が近接し、施工ヤードも狭隘かつ複数の工事が輻輳する非常に条件の厳しい作業環境であったが、工事騒音に十分配慮しつつ、他工事との密な工程調整を行うことにより、適切な施工管理と工程管理のもと、無事故で工事を完了させた。

【施工前】



【施工後】



株式会社福田組 東京本店

## 隅田川（水神大橋下流）左岸防潮堤耐震補強工事

### <受賞理由>

本工事では東日本大震災を踏まえ、将来にわたって考えられる最大級の地震が発生した場合においても、防潮堤が機能を保持し、津波等による浸水被害を防ぐことを目的に堤防の耐震補強を行ったものである。

受注者は、水中掘削工及び河川内の地盤改良工において、ICT 技術を活用した施工管理を行い、作業の生産性向上に貢献した。施工箇所が首都高速道路が隣接しており、狭隘な現場であったが、桁下にレーザーバリアを設置したうえ足場材を橋脚回りに設置する等、複数の接触防止対策を実施した。また、社内において定期的に安全点検を実施して安全管理に努め、品質管理・出来ばえも優秀であった。

【施工後】



【施工状況】



ジーアンドエスエンジニアリング株式会社 東京支社

## 大場川護岸耐震対策基本設計（その3）

### <受賞理由>

本委託は、大場川護岸の耐震性能照査に基づく対策工の基本設計を行うものである。大場川は高潮事業未整備区間であり、河川内の支障物(写真①)や堤防天端の桜(写真②)など、難しい現場条件であった。

受託者は、対策工の検討の際、桜への影響や隣接する民家等への影響について、樹木医の意見や施工業者へのヒアリングを踏まえ、課題整理を積極的に行った。

【河川内の支障物(写真①)】



【堤防天端の桜(写真②)】



## 建設業担い手確保・育成貢献工事等

坂田建設株式会社 東京支店

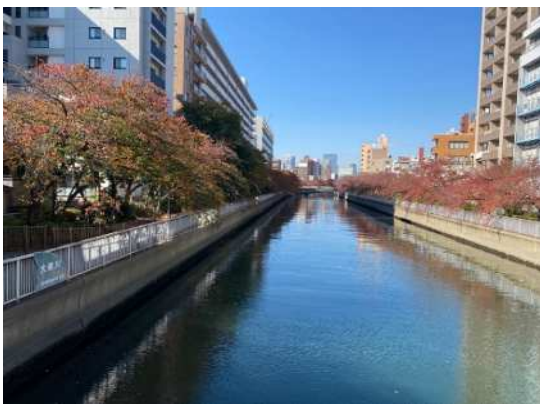
### 大横川耐震補強工事（その10）

#### <受賞理由>

本工事は、「東部低地帯の河川施設整備計画（平成24年12月）」に基づき、将来にわたって考えられる最大級の地震が発生した場合においても施設が機能を保持し、津波等による浸水を防止することを目的とし、河川施設の安全性を高めるため、大横川（巴橋～東富橋区間）において護岸の耐震補強を行ったものである。

受注者は、沿川に多くのサクラがあり、地元の関心も非常に高い中、サクラの剪定を最小限（3本・設計の半分）に抑えたほか、30代前半の現場代理人を起用し、サクラの枝の防護方法など柔軟な発想で工夫し、工事を完了させた。また、エコパイラーを活用し、生分解性オイルの使用等環境への配慮を地元にもアピールして施工を行い、苦情を減らした。

【施工前】



【施工後】



扶桑電通株式会社

## 木下川排水機場外 6 か所 IP 通信システム改修工事その 3

### <受賞理由>

東京都江東治水事務所所管の水門等は、防災施設として東部低地帯を中心に、本地域の住民の生命・財産を守る重要な施設であり、これらの施設の遠隔監視、制御を行うために水門管理システムを構築している。

本工事では、伝送装置等の IP 通信システムの更新を行い、水門管理システムの機能の改善を図るものである。

受注者は、担い手の育成の視点から、若手社員を現場施工に同行させ施工管理のポイント等を説明していた。さらに、従事した技術者の約半数が女性であり、女性技術者も課題解決等に向けて積極的に発言できる風土を醸成していた。

【施工後】



【女性技術者作業状況】



港シビル株式会社

## 上平井水門耐震補強工事に伴う取付堤防耐震補強工事（その2）

### <受賞理由>

本工事は、将来にわたって考えられる最大級の地震が発生した場合においても護岸等の機能を保持し浸水被害などを防ぐことを目的に、上平井水門耐震化に伴い右岸側既設取付堤防の耐震補強を行ったものである。

受注者は、本工事は、地中障害物により仮設工法が大幅に変更になる等、困難な現場だったが、現場代理人をはじめ若手技術者が中心となって適切に施工管理を行い、工事を完了させた。また、VR 技術を活用した安全教育により作業員の安全に対する意識を向上させた。

【施工前】



【施工状況】



ライト工業株式会社 関東支社

## 隅田川(白鬚橋下流)右岸テラス工事(その2)その2

### <受賞理由>

隅田川では親水性を向上させるために、護岸のテラス工事を行っている。

本工事は、テラスを延伸するため、基盤部を構築する工事である。

受注者は、建設業界の若手技術者を確保することを目的として、大学生向けに現場見学会を開き、建設業の魅力を伝え、建設業への関心を高めた。さらに、上水道のない現場であったが、現場詰所に水循環型手洗い器を設置し、作業員の衛生環境を向上させた。

【施工前】



【施工後】

